



戦争させない甲賀市民の会は10月22日、甲賀市役所前で集会を開いた後、市内11コースに分かれて、「イスラエル軍はガザへの空爆をやめよ 即時停戦を」「岸田内閣の大軍拡ストップ」「戦争への準備よりも平和の準備を」などと高らかに訴えました。集会には、日本共産党の山岡光広・岡田重美・西山実の各市議、立憲民主党の福井進市議や各団体から訴えがありました。会共同代表の大林清氏は「私たちの原点は、2015年9月19日、戦争法の強行可決に対して、戦争は絶対あかんと集まった。この8年間継続して戦争反対の運動に取り組んでいる。引き続き運動を広げてとこう」と呼びかけました。

## 第4回甲賀市投票区域再編審議会 傍聴

### 諮問の大幅削減に賛成は少数

11名の傍聴が見守るなか、第4回甲賀市投票区再編審議会が10月25日開かれました。諮問で出された投票所の大幅削減に賛成している意見は1名だけで、地域の実情や高齢者の動向も見極め、段階的に進めるべきとの意見や、投票所の環境を改善すべきとする意見が出されました。審議会として諮問内容について「議論を尽くしていない」という意見もあり、年度内にあと2回開催することになりました。投票所削減は、民主主義の根幹にかかわる問題だけに、審議を尽くすことが大事です。審議会のポイントを紹介します。

投票所までの距離がなぜ3kmなのか：  
投票率をあげるためにはむしろ投票所を増やすべき：  
コストをかけても投票率をあげる必要がある：  
行政職員が減っているのなら他に協力を求めたらいい

審議会では、選挙管理員会事務局より「投票所見直しに伴う支援体制（案）」が説明されました。

①大型商業施設での期日前投票所 水口町で1店舗 ②見直しにより投票所までの距離が3kmを超える投票区域における「移動期日前投票所」の実施 ③投票当日に市内すべての投票所に誰でもどこでも投票ができる共通投票所 ④見直しにより投票所までの距離が3kmを超える区域のタクシーによる投票所までの移動支援。移動投票所もタクシーによる移動支援も見直しにより3kmを超える地域

に限定するなど、十分な支援になっていません。そもそも投票所まで3kmを超えることこそ問題です。

委員から「投票所を減らす対応策で期日前投票の利便性を充実させることは、公職選挙法の趣旨と反するのではないか。投票率を上げるには、むしろ投票所を増やすことも考えられる」との意見が出されました。

人で対応できない。市民の安全と安心を確保し、早期の災害対応、適正な選挙を執行するために投票所の見直しは早急の課題」との説明がありました。

行政職員が合併以降250人も減っていることこそ問題です。選挙不正問題を見過ごすの背景としていますが、投票所削減と不正は別問題です。委員からも「コストをかけても投票率を上げる必要がある。行政職員が減っているのなら、市民の協力、職員のOBの活用、外部委託などができるのでは」との意見もありました。

## 11月10日に臨時議会 議会人事等

11月10日に臨時議会が開かれました。正副議長や監査委員の選任の他、各議員が所属する常任委員会も変更になります。今期議員の任期も折り返し地点。新たな議会人事が決まります。

<b>日本共産党</b> <b>甲賀市議員団ニュース</b> 2023年 11月 5日 第470号	 <b>山岡 光広</b> 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415	 <b>岡田 重美</b> 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696	 <b>西山 実</b> 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
---	--	---	---